

平成24年行政事業レビューシート (復興庁、環境省)

事業名	警戒区域内における被災ペット保護活動事業		担当部局	復興庁/環境省自然環境局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	開始年度:平成24年度 終了予定年度:平成24年度		担当課室	統括官付参事官(予算会計担当)/ 総務課動物愛護管理室		尾関 良夫(復) 西山 理行(環)			
会計区分	一般会計及び 東日本大震災復興特別会計		施策名	5-6 東日本大震災への対応(自然環境の復旧・復興)					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 程度以内)	福島第一原子力発電所の半径20km圏(警戒区域)内から住民が避難する際に取り残された被災ペット(犬及び猫)の保護活動を行い、保護した犬及び猫を動物収容施設(シェルター)において飼育管理を行いながら、飼い主への返還や新しい飼い主への譲渡を推進するとともに、早急な保護活動を実施することにより犬や猫が野生化することを防ぐことで、将来、住民が警戒区域内に帰還した際の生活環境を保全することを目的としている。								
事業概要 (5行程程度以 内。別添可)	警戒区域内を長期間放らしている被災ペット(犬及び猫)について、犬及び猫の生理・生態に詳しい捕獲員による捕獲体制を整備し、捕獲わなや誘因餌等を使用して集中的に保護を行う。保護した犬及び猫を収容し、飼育管理を行うための動物収容施設(シェルター)を設置し、専門スタッフによる飼育管理を行いながら、元の飼い主を探し返還等を行う。飼い主が所有権放棄したり、飼い主がわからない犬及び猫については、新たな飼い主を探すための譲渡活動を促進するとともに、不妊去勢措置、マイクロチップの装着、放射線による影響を把握する調査を行う。なお、平成24年度予算については、復興庁で一括計上し、環境省で執行する事業である。								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		繰越し等				100(復興庁計上)	32(復興庁計上)		
		計					0		
		執行額					0		
	執行率(%)					100			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
	本事業は警戒区域内に取り残された被災ペット(犬及び猫)を保護収容し飼い主への返還等を行うものであるが、発災前に当該区域で飼養されていた犬及び猫の頭数を把握することは困難なため、保護数等为目标値として設定することは困難である。			-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	本事業は、警戒区域内の被災ペットの生息状況をみながら、適宜、必要な体制を整えて保護活動を実施するため、定量的な指標を設定することは困難である。			-	-	-	-	-	
					(-)	(-)	(-)		
単位当たり コスト	-		算出根拠	-					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	職員旅費	2	1						
	環境保全調査費	98	31						
	計	100	32						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	警戒区域に取り残されている被災ペットの保護収容については、原子力災害対策特別措置法第26条に基づき、緊急事態応急対策として実施しているため、国が実施すべきものである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	-
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	警戒区域内に取り残された被災ペットの大規模かつ集中的な保護活動の実施、保護したペットを適正に飼育管理するためのシェルターの設置、飼い主への返還・譲渡を促進するための不妊去勢措置及び内部被ばく調査等を効率的かつ効果的に推進するために、平成24年度に新規事業として予算措置を行い、適正な執行に努めている。		
予算監視・効率化チームの所見			
-	事業計画を明確にし、効果的・効率的な事業実施に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	-